



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社プラザホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 堤 俊之 TEL 03-3532-8812
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有 金融機関向け

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,133	△5.6	△368	—	△283	—	△321	—
2023年3月期第2四半期	8,619	△14.8	△470	—	△476	—	△520	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △299百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △561百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△133.10	—
2023年3月期第2四半期	△214.18	—

(注) 当社は2023年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	10,847	1,889	17.4	782.37
2023年3月期	11,681	2,310	19.8	956.51

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,889百万円 2023年3月期 2,310百万円

(注) 当社は2023年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり純資産につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2023年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2024年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。当該株式併合の影響を考慮しない場合は10円00銭となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△5.9	130	41.4	150	25.8	50	—	20.70

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2023年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については当該株式併合の影響を考慮しております。当該株式併合の影響を考慮しない場合の2024年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は4円14銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	2,767,251株	2023年3月期	2,767,251株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	351,540株	2023年3月期	351,540株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	2,415,711株	2023年3月期2Q	2,428,651株

（注）当社は、2023年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、T D n e t で開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの5類への移行により、経済活動の正常化を背景に個人消費の増加や、インバウンド需要の回復など、景気は緩やかに回復の兆しを見せております。

一方、長期化するウクライナ情勢や円安による物価上昇・原材料価格の高騰等により、経済の先行きは不透明な状況にあります。

このような事業環境において、当社グループは引き続き、モバイル事業の継続的成長と、パレットプラザをはじめとしたイメージング事業の新たな収益の柱となる事業の創出に積極的に取り組んでまいりました。

モバイル事業においては、スマートフォンの値上がりによる買い替えサイクルが長期化しております。そのようななかで店舗外での販売イベントを積極的に実施し、販売台数を確保するとともに、イベントにかかる人員の内製化を進めることで販売費及び一般管理費を抑制しました。

前連結会計年度を通じて行った店舗の統廃合で店舗数が減少したことによる減収となりましたが、営業利益は改善しました。

また、店舗の在り方も見直し、スマートフォン以外の商材/サービスの提案や店舗内での高齢者向けにスマートフォンの使い方教室を開催するなど、販売後の利用サポートで地域に根付いた店舗作りに取り組んでおります。

なお、当第2四半期連結累計期間末における店舗数は、85店舗となっております（前連結会計年度末89店舗、前第2四半期連結累計期間末103店舗）。

デジタルデバイスと周辺ソリューションに対する企業の需要が増加していることを受けて、当社は法人営業部門のスタッフを増員しました。これにより、当社の店舗を訪れる法人顧客には、単に端末を販売するだけでなく、企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を支援することが可能になりました。

以上の結果、モバイル事業の業績は売上が減少しましたが、損失額は縮小しました。

イメージング事業においては、「パレットプラザ」で、ペット愛好家のお客様にも喜んでいただけるようフォトグッズイベントを開催いたしました。これにより、お客様にとって高い価値のある高品質な製品の販売を促進してまいりました。

グランピング事業における夏季のピークシーズンの実績として、新しくオープンした「THE GLAMPING PLAZA 伊勢志摩BASE」は開業初期のため予定していた稼働率には若干届かなかったものの、既存の「THE GLAMPING PLAZA アルプスBASE」は予定どおりの稼働率を達成しました。ただし、これらの活動がまだ収益に大きく貢献している段階ではありません。

なお、パレットプラザの店舗数は、当第2四半期連結累計期間末には、フランチャイズ店舗181店、直営店舗16店となりました（前連結会計年度末フランチャイズ店舗190店、直営店舗は22店、前第2四半期連結累計期間末フランチャイズ店舗225店、直営店舗は13店）。

「One-Bo（ワンボ）」という“オンライン会議のための個室空間”パーソナル・ミーティング・ボックスの販売実績は、テレワークからオフィス出社へ帰りが進むなかでもオンライン会議が定着したことにより好調に推移しております。引き続き販売体制と製品増産体制の構築を強化してまいります。

前第2四半期連結累計期間末と比較して、パレットプラザのフランチャイズ店舗の減少に伴う卸売上高の減少、パレットプラザ直営店が一時的に増加したことに伴う固定費の増加及び、新規事業（グランピング事業及びアパレル事業）で当第1四半期連結累計期間から発生した固定費を回収できず、イメージング事業の業績は、減収、赤字額の僅かな縮小となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、81億33百万円（前年同期比5.6%減）となり、営業損失3億68百万円（前年同期：営業損失4億70百万円）、経常損失2億83百万円（前年同期：経常損失4億76百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失3億21百万円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失5億20百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①イメージング事業

当第2四半期連結累計期間のイメージング事業においては、店舗数の減少及び新規事業での当第1四半期連結累計期間から発生した固定費回収ができず、売上高は14億4百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント損益は3億26百万円の損失（前年同期：3億32百万円の損失）となりました。

②モバイル事業

当第2四半期連結累計期間のモバイル事業においては、前連結会計年度を通じて行った店舗の統廃合に伴う店舗数の減少などにより、売上高は67億29百万円（前年同期比6.3%減）、一方のセグメント損失は57百万円（前年同期比：2億28百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は108億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億33百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が3億7百万円、その他流動資産が2億80百万円、商品及び製品が2億61百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の額は89億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億12百万円の減少となりました。主な要因は、短期借入金が93百万円増加し、支払手形及び買掛金が2億51百万円、長期借入金2億9百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の額は18億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億20百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失3億21百万円、剰余金の配当1億20百万円などにより利益剰余金が4億42百万円減少したことなどによるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の19.8%から17.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、11億71百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ収入が4億93百万円減少し3億18百万円の収入（前年同期 8億12百万円の収入）となりました。主な要因は、売上債権の増減による収入の減少3億80百万円、仕入債務の増減による支出の増加1億85百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が1億57百万円減少し54百万円の支出（前年同期 2億11百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の減少78百万円、有形固定資産の売却による収入の増加34百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が2億26百万円増加し2億70百万円の支出（前年同期 44百万円の支出）となりました。主な要因は、短期借入金の純増減額の増加3億20百万円、長期借入れによる収入の減少5億50百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,172,613	1,171,313
受取手形及び売掛金	1,834,685	1,526,746
商品及び製品	2,406,858	2,145,392
原材料及び貯蔵品	216,841	270,447
その他	1,178,566	897,931
貸倒引当金	△18,058	△18,058
流動資産合計	6,791,507	5,993,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,218,582	2,271,879
減価償却累計額	△1,102,817	△1,101,062
建物及び構築物（純額）	1,115,764	1,170,817
機械装置及び運搬具	749,132	738,199
減価償却累計額	△657,473	△652,838
機械装置及び運搬具（純額）	91,659	85,361
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	1,208,969	1,181,741
減価償却累計額	△1,117,535	△1,100,658
リース資産（純額）	91,434	81,083
その他	1,002,854	853,446
減価償却累計額	△573,860	△581,458
その他（純額）	428,994	271,988
有形固定資産合計	3,239,102	3,120,499
無形固定資産		
のれん	121,586	97,193
リース資産	23	9
その他	161,572	165,934
無形固定資産合計	283,182	263,137
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,187,143	1,138,016
その他	192,701	344,581
貸倒引当金	△12,290	△12,290
投資その他の資産合計	1,367,555	1,470,307
固定資産合計	4,889,839	4,853,944
資産合計	11,681,346	10,847,718

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,518,767	1,266,854
短期借入金	3,180,803	3,274,603
リース債務	55,262	32,842
未払法人税等	5,694	2,846
賞与引当金	118,270	115,058
その他	695,650	715,298
流動負債合計	5,574,449	5,407,504
固定負債		
長期借入金	3,321,992	3,112,790
リース債務	76,229	63,811
退職給付に係る負債	37,680	31,587
資産除去債務	148,035	141,601
長期預り保証金	179,641	160,791
その他	32,668	39,641
固定負債合計	3,796,247	3,550,223
負債合計	9,370,697	8,957,727
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,496
利益剰余金	1,588,311	1,145,992
自己株式	△609,610	△609,610
株主資本合計	2,307,197	1,864,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,452	25,111
その他の包括利益累計額合計	3,452	25,111
純資産合計	2,310,649	1,889,990
負債純資産合計	11,681,346	10,847,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,619,561	8,133,675
売上原価	5,771,746	5,341,237
売上総利益	2,847,815	2,792,438
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	345,376	301,483
給料手当及び賞与	1,075,495	980,942
賞与引当金繰入額	123,724	113,980
雑給	72,038	80,576
賃借料	464,914	412,431
貸倒引当金繰入額	7,647	—
支払手数料	682,020	684,893
のれん償却額	33,575	24,393
その他	513,164	562,105
販売費及び一般管理費合計	3,317,956	3,160,806
営業損失(△)	△470,141	△368,368
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,054	2,068
協賛金収入	6,157	383
償却債権取立益	2,300	18,494
助成金収入	897	82,469
その他	19,505	14,602
営業外収益合計	30,915	118,018
営業外費用		
支払利息	28,256	27,533
その他	8,669	5,353
営業外費用合計	36,925	32,887
経常損失(△)	△476,151	△283,237
特別利益		
固定資産売却益	1,506	8,554
投資有価証券売却益	5,709	—
特別利益合計	7,216	8,554
特別損失		
減損損失	35,776	40,981
店舗閉鎖損失	3,616	4,897
解約違約金	9,000	—
特別損失合計	48,392	45,879
税金等調整前四半期純損失(△)	△517,328	△320,562
法人税、住民税及び事業税	3,113	2,847
法人税等調整額	△261	△1,875
法人税等合計	2,851	971
四半期純損失(△)	△520,179	△321,533
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△520,179	△321,533

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
四半期純損失（△）	△520,179	△321,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,160	21,659
その他の包括利益合計	△41,160	21,659
四半期包括利益	△561,340	△299,873
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△561,340	△299,873
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△517,328	△320,562
減価償却費	127,802	144,672
減損損失	35,776	40,981
のれん償却額	33,575	24,393
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△6,093
受取利息及び受取配当金	△2,054	△2,068
支払利息	28,256	27,533
固定資産売却損益(△は益)	542	△8,485
助成金収入	△897	△82,469
売上債権の増減額(△は増加)	630,578	250,300
棚卸資産の増減額(△は増加)	241,501	204,391
仕入債務の増減額(△は減少)	△66,484	△251,913
その他	333,374	247,246
小計	844,641	267,928
利息及び配当金の受取額	2,054	2,068
利息の支払額	△28,905	△28,003
助成金の受取額	897	82,469
法人税等の支払額	△6,226	△5,694
営業活動によるキャッシュ・フロー	812,462	318,768
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△158,045	△79,616
有形固定資産の売却による収入	10,391	45,039
無形固定資産の取得による支出	△8,032	△16,248
その他	△56,034	△3,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,722	△54,155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△320,000	—
長期借入れによる収入	1,200,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△733,534	△765,402
配当金の支払額	△121,215	△120,577
リース債務の返済による支出	△69,420	△34,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,169	△270,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,180	4,905
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	561,750	△1,299
現金及び現金同等物の期首残高	1,406,497	1,172,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,968,248	1,171,313

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,440,717	7,178,844	8,619,561	8,619,561	—	8,619,561
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,440,717	7,178,844	8,619,561	8,619,561	—	8,619,561
セグメント損失 (△)	△332,360	△228,076	△560,437	△560,437	90,295	△470,141

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額90,295千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△141,604千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額231,900千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、前第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において19,122千円、「モバイル事業」において16,654千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,404,290	6,729,385	8,133,675	8,133,675	—	8,133,675
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,404,290	6,729,385	8,133,675	8,133,675	—	8,133,675
セグメント損失 (△)	△326,673	△57,954	△384,627	△384,627	16,259	△368,368

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額16,259千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△147,854千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額164,113千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において14,184千円、「モバイル事業」において26,796千円であります。